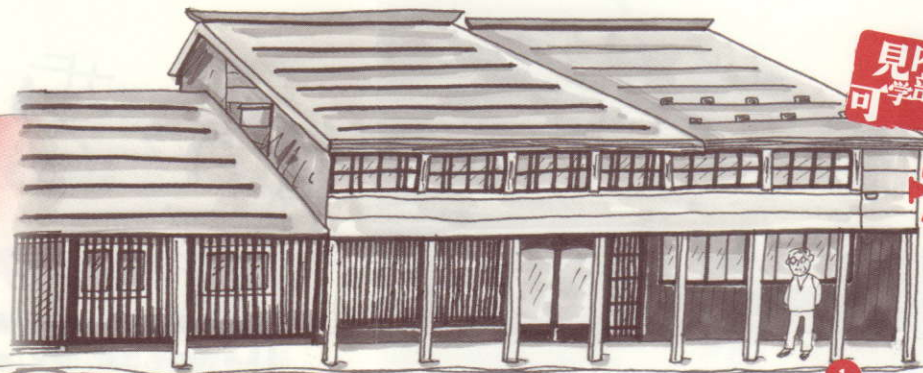


# 「旧今井染物屋」 界限を歩く

※  
見内部  
可



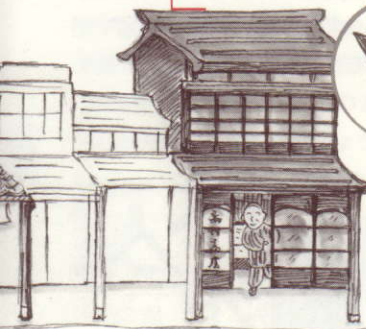
1

## 「旧今井染物屋」

黒い格子が残る大型の町家  
約百五十年前の江戸後期  
に建てられた商家で、雁  
木は古い形式といわれる  
造り込み式です。  
江戸時代から染物屋を営  
み、多くの職人や使用人  
が住み込みで働いていま  
した。  
高田のまちでも特に大き  
な茶の間の吹抜け空間  
は、雪国の町家のわりに  
細目の部材の梁組と、整  
然と組まれた貫が端正な  
表情をみせています。

昭和初期のまちなみ  
旧町名は下紺屋町で織  
維・呉服の卸と小売の多  
い一角。このあたりは昭  
和十年の大火の後、同時

和十年の大火の後、同時



6

## 「映画館」

明治大正浪漫のレトロ劇場  
明治の末に陸軍第十三師  
団を誘致した頃から、西  
洋風の旅館や娯楽施設が  
流行しました。正面の軒  
飾りやアーチ窓が目惹  
く映画館は、明治四十四  
年に芝居小屋「高田座」  
として建てられたもので  
す。



7

## 「旧雑貨店」

鉄筋コンクリート造の先駆  
店舗部分は昭和初期の重  
厚な鉄筋コンクリート  
造。専売公社時代の煙草  
販売調度品やライオン石  
鹸の看板など、懐かしい  
品々が残されています。

8

## 「旧洋食店」

(現電機店)

飾り窓の華やかな洋風建築  
明治三十八年の建築当初  
は「牛丸」が屋号の牛肉  
販売兼洋食店。ハイカラ  
なお客で賑わいました。  
奥は住居で、風呂場の九  
谷焼タイル絵には金谷山  
でスキーをすることもや  
錦鯉が描かれ、洒落た暮  
らしが偲べれます。

見内部  
可



10

## 「町家交流館 高田小町」

まち歩き拠点に  
明治の町家三軒分の間口  
に、立派な鬼瓦を載せた  
大屋根と土蔵のある商家  
を再生活用した交流施設  
です。各種の催し会場に  
、また城下町高田のまちな  
か散策の休憩・案内所と  
してもご利用ください。  
(入場無料、トイレあり)

11

## 「大正浪漫の町家」

職人の技が光る  
元鉄工場主の住まいであ  
り、見事な櫓造りの吹抜  
、漆塗りの箱階段、



印は、上越を舞台にした映画「ふみ子の海」ロケ現場

見内部  
可

印のない

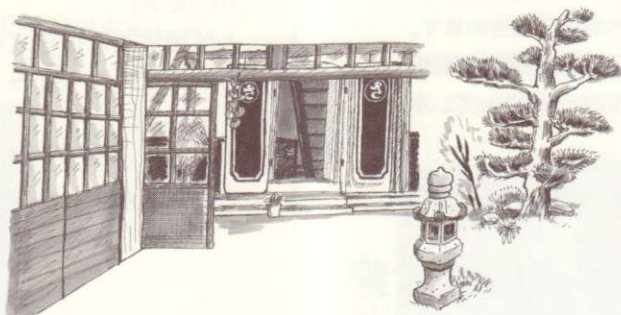


期に建替えられたため、戦前の丁寧な造りで、広い間口や表二階の出窓がよく似た町家が並びます。

2 旧麻糸商店のミセには昔ながらの建具や商売道具、貴重な麻糸などが残されています。大きな吹抜けと渡り廊下、座敷から続く縁側と庭の風情は格別。

3 間口の広い昔からの町家を再生した呉服店。二階の広い座敷から見れば、堂々たる吹抜けの梁組に、清楚な白壁と渡り廊下の調和が見事です。

4 母屋の表二階に広い座敷があり、中庭と明治三十七年築の土蔵が見られます。庭に面する細長い土間と縁側も心地よい雰囲気です。



5

### 「味噌・醤油店」

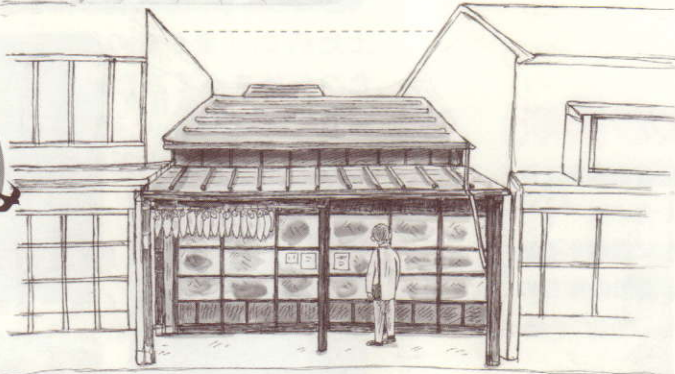
老舗の味と香り  
弘化元年（1844年）創業。ガラス戸を開けばお醤油の香りに包まれます。火災後の昭和初期改築ですが、古い土蔵や大きな石の水盤、昔通りの味噌つくりの道具は現役で、雁木の古い舗石と木製ベンチも風情たっぷり。



9

### 「明治初期の町家」

頸城野郷土資料室  
低い屋根の造りは「差し掛け」といい、二階建て禁止であった江戸時代の名残です。  
頸城平野の郷土史とまちづくり活動を研究支援するNPO法人の拠点。



## 「浄興寺大門通り」界隈を歩く

14

### 「料亭」

粋な黒塀に見越しの松

昔は田端町（現在の仲町）



晩秋の風景  
雁木通りの大根干し

12

### 「旧金津憲太郎桶店」

職人の仕事場と暮らし  
江戸時代後期の町家。桶職人の仕事場や土間のかまどなど、懐かしい暮らしの様子が見られます。



渡り廊下、自作の鉄製手摺は必見。また和室の造作と繊細な建具も、大正浪漫を奏めています。



見内部可

※



13 「料亭」

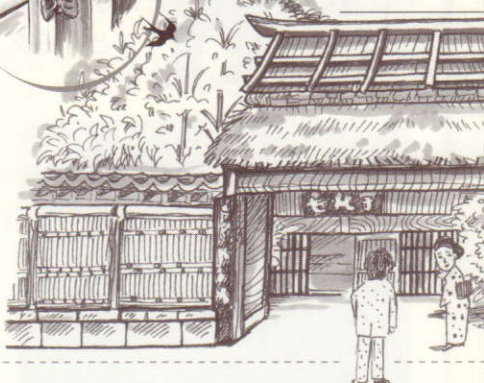
茅葺門に赤い欄干

百年以上も続く老舗料亭

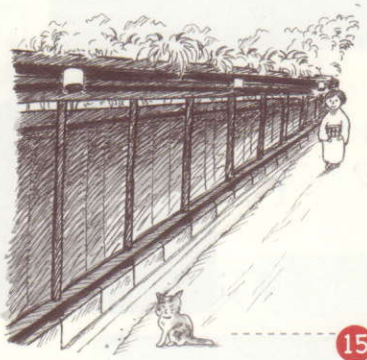




で、師団の高官達が三階の座敷から金谷山を望んだといわれます。大門通りの茅葺門と塀、池や樹木が時代を語ります。豪華絢爛な室内は凝った装飾が施され、なかでも日本の大理石彫刻の創始者、北村四海の木彫欄間は見事です。



明治中期に現地に移転。広い庭園と教奇屋の料亭です。



## 「堅・横春日町」

大きな商家の構え

### 「質実剛健の町家」

瓦葺きで間口四間の北側にガラス障子戸があり、昔の揚げ戸の痕跡が残っています。大黒柱が支える茶の間の豪快な梁組みは、高窓から射し込む朝日をうけて荘重な陰影を刻みます。

表二階の押入襖は大正頃まで輸出品であった「金唐革紙」張り（アールヌーボー風の柄）。



金唐革紙

## 「高橋あめや」

江戸中期創業の老舗飴屋

### 「高橋あめや」

国登録有形文化財

十返舎一九の「諸国道中金の草鞋」に「評判は高田の町に年を経て豊かに澄める水飴の見世」として登場する飴屋。奥の土蔵以外は明治七年の火事で焼失し、翌八年に再建。能生から山一つ分の材を筏組で運び、高田城の旧材も譲り受けたと聞きます。



横春日町の寺院には県内最古の松尾芭蕉の句碑もあります。

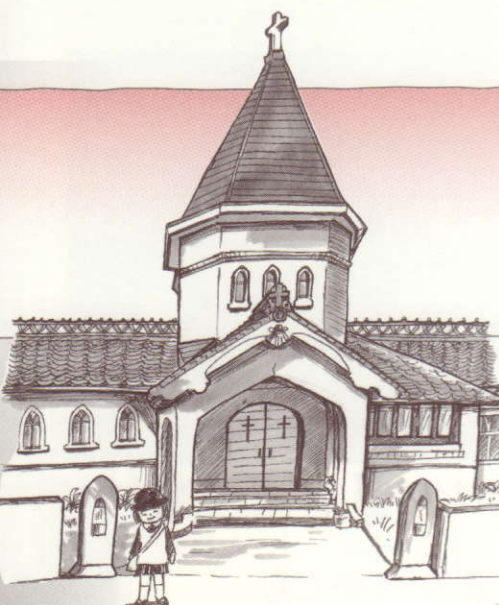


## 「青田川」 界限を歩く

17

### 「教会」

赤い八角のトンガリ屋根  
アメリカ生まれの著名な建築家ヴォーリズ設計の礼拝堂は昭和十三年竣工の珠玉のような建築で、現存する新潟県内唯一のヴォーリズ作品。



18

### 「旧侍屋敷」

尾崎行雄の足跡を刻む

数少ない江戸後期榊原藩時代の侍屋敷遺構。戦時中には「憲政の父・尾崎行雄（号堂翁）」が逗留して、「無量庵」の銘を残しました。

